

地域と共に創る  
PTA活動を目指して



# 島Pだより

No.52

2024.3



## 令和5年度を振り返って

島根県PTA連合会

会長 坂手 洋介

日頃からPTA活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年5月から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類感染症に変更となりました。感染症対策を取りながらではありますが、様々な行事や活動が行われるようになりました。

子ども達の行事や活動を見る機会が増え、多くの笑顔や真剣に取り組む眼差しに接し、嬉しく感じるとともに、私達PTAも子ども達の健やかな育ちのために、寄り添い、共に学んでいくことが重要であると改めて強く思いました。

11月には日本PTA設立75周年記念式典が開かれ、令和5年度の年次表彰が行われました。島根県から団体では、出雲市立第一中学校PTA・出雲市立大津小学校わくわくPTA・松江市立八雲小学校PTAの3校が受賞され、また個人では7名の方が受賞されました。さらに全国小・中学校PTA広報紙コンクールにおいて、松江市立八雲中学校PTAが文部科学大臣賞に、出雲市立大津小学校わくわくPTAが佳作となり表彰を受けました。日頃の活動の成果、PTA活動に対する情熱などが大きく評価され大変うれしく思います。本当におめでとうございました。

また、幼こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会の開催に合わせて、島根県PTA連合会役員と島根県教育委員会教育長との懇談会を開催しました。各市郡PTAの活動や現在の教育課題、県教委の取り組みなどの情報交換や課題共有をさせていただきました。そして研修会では講師に侍ジャパンのコーチ清水雅治さんをむかえて「教育及び指導には伝え方が大切」と題した講演をいただきました。貴重な体験を踏まえた話を聞き、子ども達との関わり方について改めて深く考える機会となりました。

子ども達を取り巻く環境が大きく・急速に変化する時代になってきています。安心・安全・健やかな育ちに取り組むためにも、地域・学校・PTAの繋がりをもっと密にし、それぞれの思いを共有し、最大限に活かしていくことが重要であると考えます。

引き続きPTA活動にご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

## つながり続けるPTA活動を目指して

島根県小学校長会 会長 玉木 康之



丁度この原稿を執筆している1月、能登半島地震が起きました。まず、多くの亡くなられた方々へのお悔やみと、被災された全ての方々へお見舞い申し上げます。

さて以前、つながりの大切さについて考える講演会に参加する機会がありました。その際、現在の日本では、「近所付き合いがない」「親しい友人がいない」「孤独を感じる」といったような、社会的孤立を感じる人の割合がOECD諸国の中で最も高いという紹介がなされました。原因は色々考えられますが、一昔前に比べ、つながりを煩わしいと感じる人、敢えてつながりなくとも生活に支障が生じないと感じる人が増加していることに、その一因があるようです。

今年度、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し様々な

制限が解除される中、各市郡のPTAでは、特色のある創造性豊かな活動が活発に展開されています。それらの報告を受けて私自身感じたことは、いずれの活動においても、その根底には、皆様のつながりの強さが支えとなって活動がなされているということです。大人のつながりの強さは、自然と子どもとのつながりの強さに影響を与えるものと思います。そして、煩わしいのではなく、つながっているからこそその安心感を生み出すものと考えます。今後もつながりを大切に、子ども達の笑顔にパワーもらいながら、PTA活動を前へ進めたいものです。

## 市郡P連活動報告

### 令和5年度安来市PTA活動について

安来市PTA連合会 会長 遠藤 直樹

本年度は新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い当初計画していた企画が全て開催できた事をまず持って嬉しく思っています。

今期安来市PTAでは2回の企画を開始しました。9月にレクリエーションとして「家庭でできるスポーツ体験」として島根県サッカー協会にご助力頂きフットサルを開催しました。小学生中心に沢山の子ども達が親子でサッカーを楽しむ事が

出来たと思います。

11月には研修会として、「子供達をネットトラブルから守るために～家庭でできる事～」を開催しました。昨今子供達がインターネットの普及によりさまざまなネットトラブルに巻き込まれるケースが増えて居る事を知り、子供達を守る為に家庭でできる事を教えて頂きました。参加された皆さんも話を聞く中で思い当たる部分も多い様子で、頷いておられる方が沢山居られました。

昨年度までの約3年間はコロナ感染予防により自粛が続いており色々な企画が中止となった為、前年からの引き継ぎも少なく開催に携わった方々や皆さんも大変なご苦労だったと思います。又コロナの影響が根強く参加いただける方も以前より少ないのが実状では有りますが、PTAの取り組みは集いが根底に有ると思います。子供達の成長に寄り添う為に我々が集いより良い教育環境を整えるのが目標と考えます。これからもPTA活動へのご理解とご協力の程お願いします。



## 「きびしい目 やさしい目 をとなりの子にも わが子にも」の スローガンのもとに活動

雲南市PTA連合会 会長 郷原 素子  
(雲南市立大東中学校)

大東町は人口約11,000人、松江市に接した町です。町内には柵田百選に認定された山王寺の柵田があり、標高300mの山頂に約200枚からなる柵田の景色は日本の原風景と言えます。学校近くを流れる赤川流域一帯は、5月下旬

から6月下旬にかけて源氏螢が群舞し、ホテルの町としても有名です。また、約400年の歴史を誇る大東七夕祭りや日本初之宮とされている須賀神社など、豊かな自然に囲まれた歴史文化が息づく町です。

大東中学校PTAとしては、「きびしい目 やさしい目 をと  
 りの子にも わが子にも」のスローガンのもと、様々な活動  
 を行っています。昨年までの数年間は新型コロナウイルス感染  
 症予防のため結集型の会議を中止し「書面決議」する等  
 で行ってきました。今年度からは例年通りの活動ができ、目  
 前の子どもたちのために活動することができました。5月に  
 PTA総会、7月には支部総会等を開催し、各部、各支部が諸  
 活動を立案し、承認されました。活動の一部を紹介します。8  
 月「親子奉仕活動」を実施しました。本校は校舎に隣接する  
 雲南市所有の大東ふれあい運動場野球場や日本陸連公認



の陸上競技場があります。さまざまな教育活動を行っている  
 広大な敷地を親子で協力しながら整備清掃を行いました。  
 また2学期には、各学年「親子活動」を実施し、親子でレク  
 リーションを行い、親子で汗を流しました。

感染症拡大が一段落し安心はしていますが、まだまだ先  
 の見えない状況もあります。今こそ保護者、学校、地域が今  
 まで以上に連携し、「子どもたちのために」を判断基準に協  
 力する必要があると思います。今後も前向きにPTA活動を考  
 え、作っていききたいと思います。



## 江津のプリンセスを救え! 謎解きで親睦交流

江津市PTA連合会 副会長 平下 智隆

私たちはコロナ禍で中断していた親睦交流事業を、スタ  
 イルを大胆に変えて実施しました。これまではバレーボール等  
 の球技を通じて、主に保護者の交流に重点を置いて実施し  
 ていました。しかし、今回は子どもたちの親睦交流に重点を  
 置き、さらに郷土の歴史や産業を体験することも目的に加  
 え、歴史的建造物である旧江津市役所において「謎解き」と  
 いうより参加しやすい内容で開催しました。そうしたところ、  
 市内11校から110名の子どもたちや保護者・教職員の参加  
 があり、楽しみながら親睦をはかり、交流の時間を持つこと  
 ができました。

歩いて場所を駅前複合公共施設「パレットごうつ」に移し  
 て表彰式を行いました。当日同施設では商工会議所等が主  
 催する「ごうつ秋まつり」が開催されており、多くの市民で賑  
 わっている中のメインステージをお借りして、上位者の表彰

と市P連の活動をPRしました。表彰式後も保護者・子ども  
 たちは江津の産業や名産品などに触れながら、親子の親睦交  
 流の時間を楽しむことができました。

この事業は県P連の支援事業を活用し、外部の法人に運  
 営を委託しながらも、担当校のPTAが実行委員会を務める  
 方式で実施しました。また、島根県立大生や江津工業高生に  
 ボランティアとして企画から当日の運営までお手伝いして  
 もらい、子どもたちのお手本になる先輩の姿を見せてもらう  
 ことができました。保護者負担を過度に求めることが社会的に  
 困難な世時でも、より専門的な事業を実施することができた  
 のは、県P連のバックアップがあったからこそです。

コロナ禍で失われてしまったフェイストゥフェイスの交流  
 の重要性を強く再確認する機会になり、今後も継続実施で  
 きるよう努めてまいります。



最終セッションは旧市長室。各セッションをクリアして集めた合言葉で  
 会長扮するクッパを倒します。



表彰式はごうつ秋まつりのステージで、多くの市民の前で行われ、  
 PTA活動をPRすることができました。

## 親子で学ぶPTA活動

吉賀町立柿木中学校PTA 副会長 遠藤 良典

柿木中学校は島根県西部の、吉賀町にあります。生徒数35名の小さな学校です。少子化の中、柿木中学校にもその影響があり、令和6年度の生徒数は23名です。

吉賀町では少子化対策に取り組み、人材の流出をくい止めるために地域とともに「サクラマスプロジェクト」に力を入れています。マスの稚魚が大きく成長して再び川を遡上するように、子ども達が都会の学校を卒業後、地元に戻って活躍してくれることを願った取り組みです。柿木中学校PTAでも、同じ思いで活動に取り組んでおり、今年度の親子研修会は島根県助産師会より3名の助産師さんに来校いただき、「生(せい)の楽習(がくしゅう)講座」を開催しました。

講座では、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で徐々に大きく成長していく様子を大小のキュービー人形を使って説明していただきました。子ども達にとってイメージしやすく、母体の中で命が育ち、赤ちゃんが生まれてくることへの感動を覚えたようです。また、出産時の母親の苦勞と喜びを、何度も出産に立ち会ってきた経験と自身の体験を元に、演技を交えながらお話していただきました。赤ちゃんを産み母親となることは、人生の中で偉大な体験であることを伝えてもらいました。そして、母体の負担を疑似体験する妊婦体験ベストを着



用させてもらうことで、子ども達にも妊婦さんへのいたわりの気持ちが生まれました。

当日は、多くの会員のみなさんにご参加いただきました。お子さんが生まれてきてくれた時のことを思い出し、子どもの成長を見てきた喜びや子育ての苦勞がよみがえり、お子さんへの愛情と命の大切さをあらためて確信されたようです。帰宅してから、講座のことを話題とされたご家庭もあったと聞いております。これからも親子で一緒に学び、体験できるPTA活動でありたいと考えています。

## これからの教育環境の変化について

飯石郡PTA連合会 会長 三上 昭彦

どの地域においても共通していることですが、ここ飯石郡飯南町でも少子化に伴う各小中学校の人数が減少している状況です。

この問題に飯南町の今後の教育や学校のあり方などについて検討し、飯南町にふさわしい教育環境について基本方針を策定することを目的に教育環境基本方針検討委員会が立ち上がり本年度には基本方針が提出される予定です。この方針は島根大学 作野広和教授による監修のもと、少子化であるから合理的な学校合併といった安易なものではなく、地域の未来と発展の視点も取り入れた素晴らしいものになる予定です。

また、別の教育環境の変化として飯南町の小学校一校と中学校一校がモデル校となり、コミュニティ・スクールを導入す

ることになりました。コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。本年度の活動目標は、まず地域で育む子どものイメージを共有するために生徒や保護者などの関係者にアンケートをとりました。それらを活用して一貫したかわりをしていくことを今後の目標に掲げています。

いずれにしても、これからの教育環境は、状況の変化に柔軟に対応し教育の主人公である子どもたち一人一人が、「のびのび」「生き生き」と成長を遂げるものであることを期待したいと思います。



令和5年度

## 優良PTA文部科学大臣表彰・ 日P表彰団体・個人、広報紙コンクール全国表彰 受賞団体及び個人

### ・優良PTA文部科学大臣表彰

出雲市立大津小学校わくわくPTA  
出雲市立第一中学校PTA

### ・文部科学大臣表彰（個人）

佐々木 功（江津市）  
原 完次（松江市）

### ・日本PTA全国協議会 会長表彰

団体 松江市立八雲小学校PTA  
個人 景山 浩充（大田市P連）

### ・日本PTA全国協議会 会長表彰 特別表彰（個人）

石倉 昭和（松江市）  
波北 顕（江津市）  
多郎畑 誠（浜田市）  
谷 重喜（邑智郡）

### ・全国小・中学校PTA広報紙コンクール

文部科学大臣賞（中学校の部） 松江市立八雲中学校PTA「星雲」  
佳作 出雲市立大津小学校わくわくPTA「ふれあいおおつ」



## 第45回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール 「文部科学大臣賞」受賞!

松江市立八雲中学校 PTA広報部 部長 船本亜紀子

昨年度制作した松江市立八雲中学校のPTA広報紙「星雲」が、全国小・中学校PTA広報紙コンクールの中学校の部で「文部科学大臣賞」を受賞しました。広報紙を発行していない学校もありますが約1万校の頂点ということです。

近年はコロナの影響でPTA行事も少なく、特集する内容にも大変苦労しました。そこで広報紙の内容を大きく変更し「親子おもしろアンケート」や「中学生あるある」「先生にインタビュー」など会員の皆さまにアンケートで参加してもらうページを作りました。紙面の回答からも楽しんで参加していただいているのが伝わり、それも受賞のきっかけになったのだと思っています。「星雲」は年3回発行、毎年保護者・教員含め10名程度で制作していますが、仕事や子育てで忙しいなかの作業です。集まる負担を減らすためにLINEで打ち合わせたり、空き時間にできる作業を分担したりしています。親

子で楽しみながら「楽しい広報紙を作る」それがこの受賞で認められとても嬉しく思います。



# 「地域づくりの土台づくり」を目指して

益田市PTA連合会 会長 田城 昇



12月に行われた益田市PTA連合会研修大会では、裾野市東地区おやじの会の小田圭介さんを講師に迎え「社会教育における地域づくりの土台づくり」をテーマに講演をしていただきました。小田さんが実行委員長の「何もしない合宿」の実践から多くを学び得ました。

地域と子どもたちの接点の創出、自分のやりたいことをみんなに言い出せる気のいい仲間の創出、発案者がリーダーになり、周りはそれを応援する『言い出しっぺ実行委員会方式』など、「個」と「個」の繋がりを生み出すことが、地域の土台作りや地域の担い手不足の解消につながるということを実感・共有することができました。

益田市において少子高齢化により人口が減少していく中、未来の自分たちの幸せのためにも、地域の土台作りを目指し、真似ることから実践していきたいと感じています。

研修会では、益田市立中西中学校・益田市立豊川小学校による実践発表も行われました。どちらも「個と個」「人と人」との結びつきやつながりを深めていく貴重な実践でした。

市P連並びに各学校、地域の取組がつながり、生まれた力が地域の土台作りの力となり、それが子どもたちの成長への一助となっていくよう実践を重ねていきたいと思えます。

## 令和5年度支援事業 支援助成結果

	PTA名	事業内容
<b>第1次</b>	江津市PTA連合会	江津市P連交流事業 「悪者にさらわれた江津のプリンセスを救え! ~江津市内11校でヒーローになろう~」
	邑智郡邑南町立瑞穂小学校PTA	伊藤宜二没20年 記念講演 「劇団 風の子」演劇鑑賞
	松江市立鹿島東小学校PTA	関の五本松節公演と体験学習
<b>第2次</b>	出雲市立第一中学校PTA	出雲一中校区すこやか委員会 『睡眠時間の確保』啓発事業
	海士町立海士小学校PTA	海士小PTA夏祭り
	松江市PTA連合会	市P連研修大会(講演会) 講師:タケト氏
	飯南町立赤来中学校PTA	講演会「弁当の日と子育て」 講師:竹下 和男氏
	津和野町立津和野中学校PTA	講演会 講師:三吉野愛子氏
<b>第3次</b>	江津市立郷田小学校PTA	郷田っ子わくわく祭り
	浜田市立第一中学校PTA	情報モラル講演会 講師:今度珠美氏

## 事務局だより 令和6年度事業について

### 1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日 令和6年3月29日(金)
- (2) 応募条件
  - ・年1回以上発行していること
  - ・各号につき、3部ずつ送付(コピー・穴あき不可)
  - ・Webで発行されている場合は、Web参加も出来ますのでご相談ください。

### 2. 県P連会長表彰

- (1) 団体締切日 3月29日(金)
- (2) 個人締切日 4月26日(金)

### 3. 大会等の予定

- (1) 新旧役員会  
6月1日(土)午後～ ホテル白鳥
- (2) 委員総会  
6月2日(日)午前10:00～ サンラポーむらくも
- (3) 第67回島根県PTA連合会研修大会・仁多大会  
8月4日(日)12:00～16:00
- (4) 日P川崎大会  
8月23日(金)・24日(土)
- (5) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA 連絡協議会研修会  
会場:浜田市 11月下旬予定



令和5年度

# 島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA 合同研修会

講師 清水 雅治氏(東京オリンピック、ワールドベースボールクラシック(WBC)2023“侍ジャパン”コーチ)

研修テーマ

## 『教育及び指導には伝え方が大切』

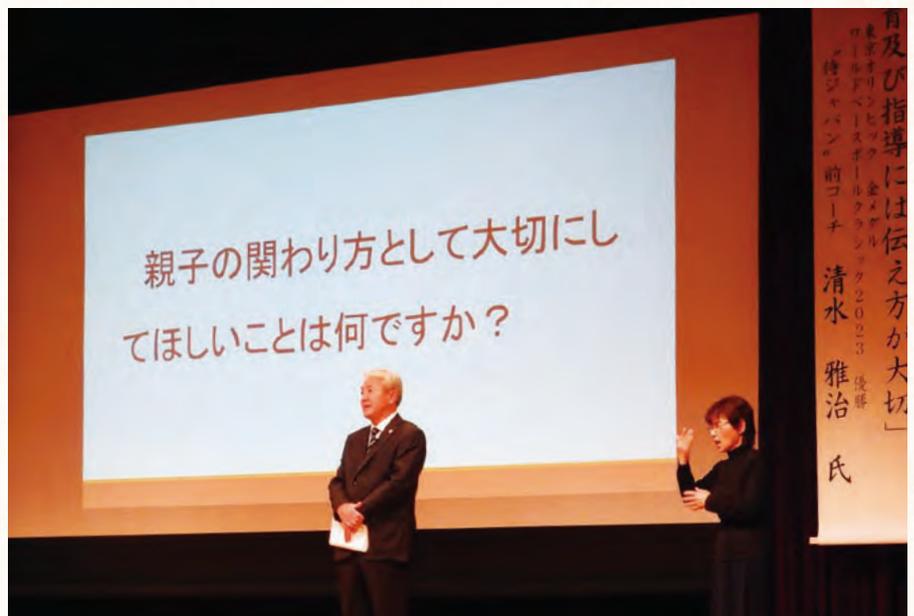
○期日: 令和5年11月25日(土) ○会場: 平田文化館プラタナスホール(出雲市)

この研修会は、本連合会も構成員となっている島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が共催し、企画・運営を行っています。今年度は、160名(本連合会93名)の方にご参加いただきました。

講師の清水氏には、「教育及び指導には伝え方が大切」をテーマに、子どもと接する際の伝え方や態度で大切にしたいことを、「侍ジャパン」のエピソードを交えながら、わかりやすくお話ししていただきました。

前半では、「伝え方」について、いつも失敗を怒り、怒りの度合いで失敗を減らそうとする指導者の姿を例に挙げ、「①想いを精一杯、真剣に伝えること」、「②伝えたい本質を明確にすること」、「③冷静に、落ち着いて伝えること」、「④本人が聞ける状態か見極めること」の4つのポイントをお話ししていただきました。また、自分の経験や知識を過信せず、常に新しい考え方を受け入れる姿勢を持ち続けることや、子どもは親の背中を見て育つ“親の写し鏡”であると考えて、親として子どもに恥じない姿でありたいことなどをお話しされました。

後半は、参加者からの質問に、大谷選手やヌートバー選



手など、WBCの舞台裏も織り交ぜながら答えていただき、楽しい時間となりました。

終わりに清水氏から、「子どもは失敗しながら成長するため、失敗が次に繋がるような伝え方、導きが大切である。子どもが自分の人生を自分で歩いていくためにも、親は“ドリームキラー”にならずに“ドリームサポーター”であってほしい。」と、日々、子どもと接する保護者、教職員に温かいエールをいただき、研修会は盛況のうちに終了しました。

### ●参加者の感想から…

- 家庭でもすぐ感情的になり怒ることが多く、結局何も伝わっていなかったように思います。行動や言葉の大切さを再認識しました。
- 野球を例に話をされて、とても楽しく、あっという間に感じました。もっと聞きたかったです。清水さんの人柄に触れ温かい気持ちになりました。
- 「子どもは親の写し鏡」という言葉が心に残りました。子どもを認め、一緒に考え、一緒に悩み、一緒に頑張っていきたいと思います。

# 小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

2024年1月現在の内容です。

## オンラインでも お申し込みいただけます!!

(詳しくはパンフレットをご確認ください。)



## 選べる4プラン (2024年度版)

年間掛金【一時払】

Yプラン

18,790円

(1年分の掛金)

Xプラン

11,150円

(1年分の掛金)

TCプラン

7,730円

(1年分の掛金)

ACプラン

5,510円

(1年分の掛金)

### 総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

- いじめ、SNS上での誹謗中傷、ストーカーなどの被害にも備えられる!
- 学校貸与の端末(タブレットなど)を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じたときも補償!
- 自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償!
- お子さまがケガをした場合に補償
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償  
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)

※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。

〔取扱代理店・扱者〕

### 有限会社メイジ

出雲市斐川町直江4888-4  
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)  
TEL.0120-001-230(通話料無料)

〔引受幹事保険会社〕

### AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F  
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)  
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号:S-240160 有効期限2024年12月

